



## 地域とともにある学校として

平素より毘沙門台小学校の学校教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

現在、文部科学省はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に向けて力を入れています。コミュニティ・スクールとは、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることを目的としています。

コミュニティ・スクールの主な役割として、

○ 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。

○ 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。

などがあります。

こうした動向を踏まえ、広島市では令和4年度から全市立学校において、学校協力者会議からコミュニティ・スクール（学校運営協議会）へ移行し、学校と地域が連携・協働した「ひろしま型チーム学校」の体制や取組を強化することとしています。

現在、本校においては、学校・家庭・地域が連携・協力しながら子供の健やかな成長を図るため、保護者・地域の方から学校教育活動全般にわたって意見や提言をいただく学校協力者会議を年3回実施しています。学校協力者会議については、これまで学校だよりやホームページなどでもご紹介していますが、委員の皆様から貴重なご意見を

数多くいただき、学校教育活動の改善に役立てています。

令和4年度からは、本校においても学校協力者会議からコミュニティ・スクール（学校運営協議会）へと移行し、委員の皆様を中心に地域との連携をさらに深化させたいと考えています。

コミュニティ・スクールに向けた動きは昨年度から徐々に始めています。一例をご紹介しますと、総合的な学習の時間（生活科含む）のテーマを「町づくり」に設定しています。町とは、毘沙門台地域のことです。本校では1年生から6年生までの全ての学年にゲストティーチャーとして地域の方を講師としてお招きし、授業を実施しています。今年の4月から12月までに延べ47人が来校され、子供たちの学習を支援してくださっています。地域の方の協力なくしては学習が成り立たないくらい、授業をサポートしてくださっています。



また、今年度は地域行事と学校とのコラボレーションも実現できました。昨年11月13日（土）に開催された「ウォークラリー in 毘沙門台」では、毘沙門台学区社会福祉

協議会の皆様のご協力を得て、総合的な学習の時間を活用して3年生児童が企画段階から地域の方と一緒に地域行事の内容を考えました。「ウォークラリーin 毘沙門台」の各ポイントのゲームなどは、児童全員が地域の方にプレゼンテーションをし、その中から地域の方に選考していただきました。

このように地域と学校が一体となって取組を進めることが、コミュニティ・スクールが目指す姿のひとつです。これからも「地域とともにある学校」として、学校教育活動を通

して毘沙門台の地域が掲げる「住みよいまちづくり」に貢献していきたいと考えています。



広島市立毘沙門台小学校  
校長 岡崎 貴弘

## 新型コロナワクチン3回目接種を希望される方へ

初回接種(1回目、2回目接種)に加えて、令和4年1月中旬から追加接種(3回目接種)が順次実施されています。

毘沙門台学区社会福祉協議会は、1回目、2回目の新型コロナワクチン接種で、足腰が不自由、接種の予約が取れない方を支援するために予約の代行及び接種会場への送迎を行いました。

毘沙門台学区社会福祉協議会は、3回目の接種においても高橋内科小児科医院様のご協力をいただき、1,2回目の接種と同様に代行予約・付添送迎を行いますので、ご希望される方は毘沙門台学区社会福祉協議会の事務局までご連絡願います。

【連絡先電話番号:082-870-9060】

